



終業式

校長 惣田 修一

今日の終業式で話した内容です。

今、3年生の面接練習をしています。面接用に考えた応えがかえってくるので、本音ではないところもあるかもしれません。それでもいろんなことを考えさせられます。

「大泉中学校ってどんな学校ですか」

その応えの中で「当たり前のレベルが高い学校」という応えがありました。

「それってどういうことですか」ときくと、それは、「あいさつだったり、2分前着席だったり、話しを聞く姿勢だったり、授業態度だったり、そういう日常の当たり前のクオリティーが高い。特に挨拶については、来客の方に、こっちから先に挨拶するんです」。特に何か大きなことがあるわけではないけれど、実は平凡な毎日の中にある当たり前な姿、そのレベルが非常に高いところが大泉中の強みだと、その生徒にあらためて教わりました。

それから、これは、とてもほっとした応えです。

「大泉中は居心地が良くて、過ごしやすい学校です。」と返ってきた時です。学校はそういう場所でありたい。心配りや思いやりのある生徒がたくさんいて、弱い生徒を馬鹿にしたり、仲間はずれや無視をしたり、そういう生徒がいないから、だから、こういう気持ちになれるのかなと思っています。

また、こういう応えもありました。

「上級生の築いた伝統をしっかり受け継いで、それを守っていく学校です。特に行事の時には上級生が下級生の見本になって活躍します」

これ聞いたときは、さすが3年生、学校を背負っているという自覚が高いんだな、と思いました。その自覚があるから、今年の合唱コンクールのように人の心に響く合唱ができるのだなと思いました。

極めつけは、「大泉中学校は、明日も絶対に行きたいって思わせてくれる学校です。」という応えです。これも、今までにあまり聞いたことがないすごい応えだと思いました。そういう風に思ってくれる生徒が一人でも多く、増えていく学校にしていかなければなと思っています。

3年生はこれから、今までで一番厳しい冬を迎えることになると思いますが、ぜひ、自分の夢に向かって、精一杯頑張ってもらいたいと思います。

1、2年生も含めて君たちがもらう通知表の所見を読みました。たくさんの活躍と3学期に向けた期待が書かれていました。リーダーとなって活躍のめざましい生徒、自分のすべきことを毎日欠かさずやり抜いた生徒、クラスで落ち込んでいる生徒に何気なく声をかけて元気づけようとしている生徒、今はなかなか学校に足が向かないかもしれないけれど、何とか気持ちを立て直そうと努力している生徒、それぞれに成長がありました。

成長がなかった生徒は、一人もいませんでした。もしも、「前より悪くなった」と自分が感じているとしたら、それは間違い。ちょっと遠回りをしているだけです。遠回りでも、少しずつ成長できている、それが大泉中です。だからあわてる必要はないです。

担任の先生方の所見を大切に、良いところには自信をもち、課題の指摘をうけたところはしっかり受け止めて3学期に生かしていくように頑張っていきましょう。

保護者の皆様、今年1年様々のご意見をいただき、またご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。来年もよろしくお願ひ申し上げます。

都内めぐり校外学習を終えて

第2学年 大澤 勇氣

去る11月27日火曜日、2学年の都内めぐり校外学習が行われました。当日は好天にも恵まれ、生徒たちの明るく元気な挨拶から都内めぐり校外学習が始まりました。

生徒たちはこれまで、見学先や移動ルート、予算、そして食事場所に至るまで、その日1日の行動計画を班の仲間たちと協力しながら調べ、話し合ってきました。これまでの様々な行事や学校生活で培った経験をいかし、綿密な計画を立ててきました。その甲斐あって、当日は大きな事故やトラブルが起こることもなく、無事終わることができました。

上野や浅草を中心に、東京の歴史や文化・科学を、その肌で感じ、多くのことを学んだ1日となりました。そしてなにより、仲間と協力し助け合いながら、

自分たちの生まれ故郷である『東京』を知る、とても良い経験になったと思います。

来年度は、中学校生活の集大成ともいべき修学旅行がひかえています。今回の都内めぐり校外学習で得た『団結力』を、今後の学校生活で存分に発揮し、最上級生に向けてより一層飛躍していってくださることを願っています。



練馬区中学校駅伝大会 女子6位入賞

12月1日(土)、練馬区中学校PTA連合協議会主催の第17回練馬区中学校駅伝大会が光が丘公園で開催されました。大泉中からは、陸上競技部が男女各1チームを編成し出場しました。

日なたでは汗ばむほどの陽気となった中、第1走者から第6走者までの各選手が精一杯の力走でタスキをつなぎました。そして、女子チームが出場42チーム中、第6位入賞を果たしました。

応援にお越しいただいた保護者の皆さま、早朝からお手伝いいただいたPTA委員の皆さま、ありがとうございました。



「税についての作文」表彰式

12月4日(火)、石神井公園区民交流センターで、中学生の「税についての作文」コンクール、練馬西税務署管内の表彰式がありました。

本校からは、東京国税局長賞を受賞した前田怜音くん、東京都練馬都税事務所賞を受賞の菊池優愛さん、練馬西納税貯蓄組合連合会優秀賞の板橋彩夏さん、木佐貫花枝さん、原希衣子さんの5名が表彰を受けました。前田くんは、受賞者を代表して、自身の作文の朗読発表もしてくれました。



税の標語 表彰式

12月12日(水)、練馬西税務署で練馬西間税会主催の「税の標語」表彰式が開催されました。2年生の長濱麟太郎くんが練馬区長賞を岩柳めいさんが練馬西間税会優秀賞を受賞し、表彰を受けました。

また、佳作に笠原幸喜くん、佐藤舞紘くんの作品が選ばれました。

長濱くんの作品「税金でみんなの地域を活性化」

岩柳さんの作品「日頃から学んでおこう税のこと」



練馬区明るい選挙啓発ポスターコンクール 入選

菅野 凜さん 本間きららさん 福田花菜香さん 半澤萌菜さん 森 真子さん

伊豆愛美さん 渡辺そあらさん 川村心愛さん

本間さんの作品は東京都明るい選挙ポスターコンクールでも優秀賞を受賞しました。

練馬区環境作文コンクール

優秀賞 蛭子寛之くん 佳作 夏目航希くん 佐藤舞紘くん

小学生対象の生徒会役員による大泉中紹介

12月3日(月)に大泉小6年生が来校、また21日(金)には、大泉六小の6年生が来校し(大東小はインフルエンザ流行のため残念ながら不参加となりました)、小中連携教育の一環として、生徒会本部役員による小学生対象の大泉中紹介が行われました。

生徒会役員が自分たちで作成した資料を提示しながら、大泉中の学校生活について説明をしました。参加した児童も、多くの質問をして、気になっていることや知りたいことを聞くことができました。小学校生活との共通点と相違点を知ることができ、児童の中学校生活への不安な気持ちを減らし、前向きな気持ちをもつことができました。



頑張る!! 大泉中生 ～部活動の記録～

- | | |
|-----------|---|
| 野球部 | 練馬区青少年育成大泉西地区委員会第24回中学生野球大会 優勝 |
| 男子バドミントン部 | 第20回東京都中学生冬季バドミントン大会練馬区選考会
男子シングルス 第1位 福岡 義人
第12回バドミントン中学1年生大会
準優勝 福岡義人 堀内勇太ペア |
| 陸上競技部 | 第17回練馬区中学校駅伝大会 女子第6位 記録54分54秒 |

いじめ防止標語入選

今年度の「練馬区いじめ一掃プロジェクト」で取り組んだいじめ防止標語で、区の審査の結果、本校から応募した3年10組の今石尚志くんの作品が入選しました。おめでとうございます。

今石くんの作品 「勇気だせ いじめ心を 一掃せよ」



『 八校合同文化発表会 』

10組 教諭 東海林 静江



この写真では、仕上がりのきれいさとその大きさが伝わらないのが残念ですが…杉山先生（美術科）のご指導のもと、10組全員で完成させた大看板！沖縄の紅型に用いられる柄を、描いたのも色を塗ったのも生徒たちです。背景となった1.5m×6mの大きな布も、個性溢れる32人のタイダイ染めの布を3年生の女子がミシンをかけました。衣装のTシャツも全て自分たちで染め上げたものです。

今年度の文化発表会のテーマは『レインボー～32人32色～』。合唱・ボディーパーカッション・エイサー…どれも皆の声や音、動きがひとつにならなければ完成しない舞台。いえ、皆の「心」がひとつになって初めて完成する舞台に挑戦しました。指揮者がいなくても、ピアノの音と仲間の声をよく聴いて声を合わせる。手のひらを真っ赤に、太ももを紫にしながら練習を重ねリズムを合わせる。パーラックと大太鼓の音と踊りをひとつにする。撮影した映像で自分たちの動きや音を何度も確認する姿。上級生が下級生に教え、学年の中でも互いに教え合う姿。自分の課題と向き合い、あきらめそうな心と戦いながら練習に取り組む姿。たくさんの場面で机に向かった授業の中だけでは見られない、生徒たちの秘めた力と可能性を感じることができました。



校内発表会でのみなさんからの温かい拍手と応援メッセージを力に、大成功で終えた本番の舞台。生徒たちの清々しい表情と「やりきった！」と言わんばかりのはじける笑顔が忘れられません。

